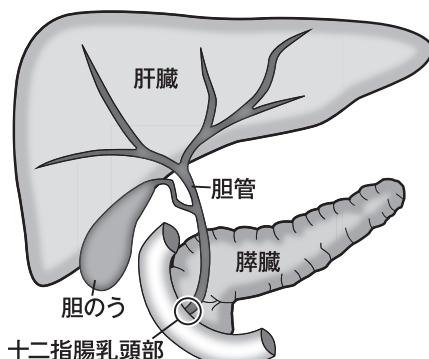


あきらめない膵がん治療

～切除不能膵がんの治療について～

■胆管、胆のう、膵臓の位置



■膵がんの病期と治療方針

	リンパ節転移なし	リンパ節転移あり	遠隔転移あり
膵内に限局	Stage I	Stage II A	Stage IV
膵外に進展(動脈浸潤なし)			
腹腔動脈もしくは上腔間膜動脈へ及ぶ	Stage III		
治療法	切除可能→外科治療 切除不能→化学療法or化学放射線療法		切除不能→化学療法

採取する検査(EUS)を刺して組織を採取する検査(EUS)で膵癌を観察しつつ、EUSでは膵臓全体をくまなく観察できましたが、EUSでは早期に発見することは困難です。しかし、内視鏡装置を伴った特殊な内視鏡です。少し太いEUSは先端に超音波の装置を伴った特殊な内視鏡です。少し太いEUSが注目されています。

従来の体外から見てできない小病変を拾い上げることができます。またEUSで膵癌が疑われる場合、まず腹部超音波検査があります。早期発見のために検査法として近年、超音波内視鏡検査(EUS)が注目されています。

EUSは先端に超音波

といふ長い臓器です。血糖値の調整をするインスリンを产生したり食物の消化を助ける膵液を作っています。

膵がんは膵液の通り管である膵管より主に形成します。無症状のうちに進行することが多く、早期の発見は簡単であります。膵がんは疑われる場合、まず腹部超音波検査の有用性

膵がんとは

はありません。

進行していくと腹痛、背部痛、食欲不振、黄疸などが生じたり、糖尿病を急に発症したりしますが、いずれも膵がんに特異的なものではありません。

CT、MRIなど低侵襲な検査が行われます。

異常があれば次に内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)などで精査を行います。早期発見そのための検査法として近年、超音波内視鏡検査(EUS)が注目されています。

EUSは先端に超音波

の装置を伴った特殊

のEUSが注目されています。

従来のゲムシタビンと併用することで治療成績が向上することができます。

週1回程度の通院で抗がん剤治療ができ、結果からこの治療を受けた患者さんが増えています。

CTによる肺がん検査、気管支鏡検査、COPDの診断、禁煙指導(要予約)訪問診療・内科全般何でもご相談ください。

診療時間 月 火 水 木 金 土

9:00~12:00 ○ ○ ○ ○ ○ ○

14:00~18:00 ○ ○ ○ 休 ○ ○

4PMまで

※月曜~木曜午前中は副院長は不在です。(休診日)日曜・祝日

山口市下町11-5(湯田郵便局となり)TEL.083-924-3780

早期発見が難しく、見つかった時には他の臓器へ広がっていて手術ができないケースも多い膵がん。他の消化器がんに比べ膵がんの予後は未だ不良で、2016年の本邦統計でがんによる死亡の第4位となり増えているがんの一つです。

膵がんの治療では、切除可能な段階であれば、外科的切除が最善の方法です。遠隔転移がなく、大きな血管への浸潤がない場合は、積極的に外科的切除が行われています。切除可能な段階で早期に発見するために

様々な努力もなされています。しかし、実際には発見時に外科的切除が可能な人は3~4人に1人のみです。多くの膵がん患者さんが切除不能な状況で治療に臨まるを得ないのが現状です。以前は有効な抗がん剤が限られていましたが近年いくつかの有効な抗がん剤が登場し、腫瘍の縮小や延命効果が高まっています。

今回、切除不能膵がんの診断治療について最近のトピックも含めて紹介したいと思います。



石垣 賀子氏プロフィール
平成15年 山口大学医学部卒業・
山口大学第一内科入局
平成17年～胆管グループ所属
平成21年 医学博士取得
平成28年～済生会山口総合病院
消化器内科に勤務

■所属学会資格

日本消化器内視鏡学会(指導医)
日本消化器病学会(専門医)
日本内科学会(総合内科専門医)
日本胰臓学会・日本胆道学会所属

US-FNA)を行い組織診断を行うことが可能で、2010年より保険診療として受けられるようになります。膵がんが疑われる時はできるだけ早く膵臓の詳しい検査が受けられる病院を受診するこ

とが望まれます。膵がんが疑われる場合、内視鏡によるステント留置術の進歩により、胆管が閉塞し黄疸が生じます。黄疸は放置すれば胆管炎など重篤な状態となります。このため胆汁を排出するためのチューブを留置するドレナージをします。

胆管の周辺に膵がんができる癌の進展につれて、胆管が閉塞し黄疸が生じます。しかしチューブが体外に出てしまい生活の質が落ちるため外瘻(ドレナージ)が第三のルートとなります。

黄疸や消化管狭窄に対する治療

抗がん剤による治療の進歩

肝臓や肺などへの転移があり根治を目指した手術ができない場合、抗がん剤による治療を行います。

従来はゲムシタビンという注射か、S-1など内服薬が主に使用されこれらの効果が乏しくなるとすぐ打つ手に行いました。

2013年より新たにオキサリプラチンなど注射の抗がん剤4種類を併用するFOLFOX療法が承認されました。1回あたり50時間ほどかかり入院を要しますが、これまでと比べ生存期間が改善されることがあります。

週1回程度の通院で抗がん剤治療ができ、結果からこの治療を受けた患者さんが増えています。

CTによる肺がん検査、気管支鏡検査、COPDの診断、禁煙指導(要予約)訪問診療・内科全般何でもご相談ください。

診療時間 月 火 水 木 金 土

9:00~12:00 ○ ○ ○ ○ ○ ○

14:00~18:00 ○ ○ ○ 休 ○ ○

4PMまで

※月曜~木曜午前中は副院長は不在です。(休診日)日曜・祝日

山口市下町11-5(湯田郵便局となり)TEL.083-924-3780

http://www.wasaki-clinic.jp

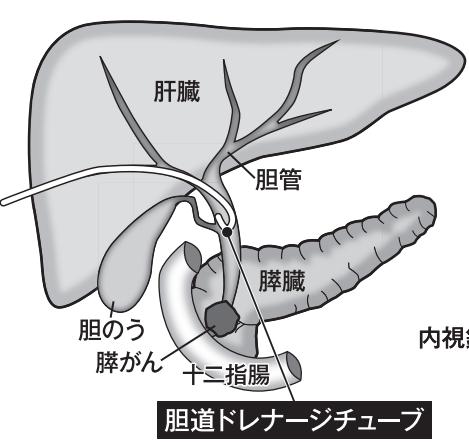
済生会山口総合病院 消化器内科 石垣 賀子氏

いしがき
のりこ
に聞く

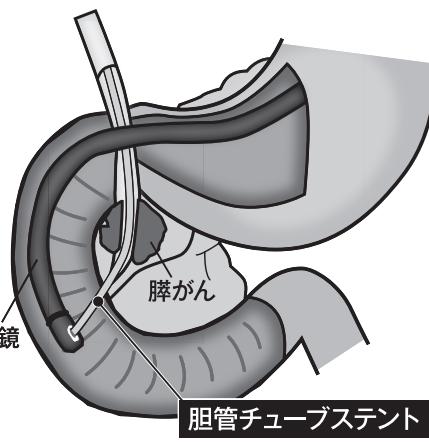


(五十音順)

■経皮経肝胆道ドレナージ(外ろう術)



■内視鏡的胆道ドレナージ(内ろう術)



胃がん検診・大腸がん検診・特定検診

青山消化器内科

院長 青山 栄

日本消化器病学会認定専門医
日本消化器内視鏡学会認定専門医

山口市吉敷佐畑2-3-1 TEL.083-923-1577

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
14:00~18:00	○	○	○	休	○	○

◆医療法人 素心会◆						
こうとく内科						
内科 呼吸器内科 循環器内科						
院長 神徳 翁甫 副院長 神徳 清						
CTによる肺がん検診、気管支鏡検査、COPDの診断、禁煙指導(要予約) 訪問診療・内科全般何でもご相談ください。						
診療時間 月 火 水 木 金 土						
AM9:00~12:00 ○ ○ ○ ○ ○ ○						
PM2:00~ 6:00 ○ ○ ○ ○ ○ ×						
※月曜~木曜午前中は副院長は不在です。(休診日)日曜・祝日						
山口市下町11-5(湯田郵便局となり)TEL.083-924-3780						

内科・消化器内科

安藤消化器内科

院長 安藤 啓次郎

〒753-0831 山口市平井1497-1

☎ (083) 933-0500

内科・通所リハビリ						
のむら 内科 胃腸科 医院						
理事長 野村 幸治 院長 佐々木 敏行						

〒753-0056 山口市湯田温泉1丁目8番10号
TEL.083-928-7878

内科・通所リハビリ

うのしま内科クリニック

院長 浦山 直樹

宇部市浜町2-11-15 TEL:0836-34-1101

内科・通所リハビリ						
宮野クリニック						
院長 赤川 晴美						

山口市宮野上2393-7 ☎ 083-932-3233



医療法人社団

うのしま内科クリニック

院長 浦山 直樹

宇部市浜町2-11-15 TEL:0836-34-1101

内科・通所リハビリ						
</tbl